

## 【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

### 【学生部門】

東洋大学 国際観光学部 国際観光学科 森下ゼミ

『AT 旅 ～五感で感じる北東北～ 温故知新 ～北東北の歴史などから 過去、現在、未来を見据えよう～』

(観光地域：青森県、秋田県、岩手県 北東北)

【日程】	7泊8日		
【実施時期】	春・夏(実施時期：4月～9月)		
【催行人員】	モデルコースなので催行人数なし (今回は6人として見積もりました)	【お勧めする旅行者層】	30代のアメリカ人とフランス人 (添付資料参照)
【旅行代金】	参考代金 273,410円(大人1名) 本件はモデルコース、ただし6人としたときの参考代金	【内訳】	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイビング 13,000円(保険料込、1人分の体験費)</li> <li>・三内丸山遺跡 入場料 410円</li> <li>・SUP 20,000円(1人分の体験費)</li> <li>・サイクリング 7,000円(1人分の体験費)</li> <li>・平泉、砂金採り、一口餅膳、神楽体験 15,000円</li> <li>・セグウェイ 10,000円(1人分の体験費)</li> <li>・SL 銀河、日本酒体験 8,000円</li> <li>・宿泊費(7泊) 140,000円(1泊平均20000円と計算)</li> <li>・ジャンボタクシーレンタル代 50,000円(6人で借りた場合の1人分の値段)</li> <li>・ガイド料 10000円(6人で催行する場合、アクティビティによってガイドは変わります)</li> </ul>	
【企画趣旨(伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント)】			
<p><b>(私たちが考える旅行に関する問題意識)</b></p> <p>私たちは、大学で観光について学んでいく中で現在の日本の観光には、様々な問題があると感じました。その中でも、①ゴールデンルートに観光客が集中しすぎている事、②地方の活性化につながらず過疎化が進んでしまう事、③地方の真の魅力を伝えきれていない事、そして、④オーバーツーリズムの4点が大きな問題であると考えました。そこで、大学のゼミ活動で学んだアドベンチャーツーリズムがこの4つの問題の解決策になると考え、中でも北東北は、水資源をはじめとした自然や文化等が豊かであるにも関わらず、十分に活かしていないエリアであると感じ、北東北を中心にしたツアーを考えました。</p> <p><b>(北東北を選んだ理由)</b></p> <p>北東北は、白神山地など日本の中でも豊かな自然を持っていながら、その自然は人為的な開発がなされていないという特徴があります。また、自然と共に生活してきたからこそその文化や、太古の歴史が発展した地域でもあります。</p> <p>それだけでなく、様々な水に関する資源があり、文化や食についても、水との強い関わりがあるため、まさに“水の里”と言えると思います。北東北には2011年に東日本大震災で被災した地域が含まれており、水は生活を豊かにするだけでなく、生活を壊すという「恵みと脅威」の二面性を持っていることを経験した地域であるという点からしても、水に関する重要な地域であると言えます。しかし、実際に北東北を訪れる観光客は少ないです。だからこそ、もし私たちが北東北の魅力を存分に伝えることが出来れば、地域の魅力を多くの人に伝えることができるという将来へのポテンシャルがあると思います。以上の理由から、私たちは北東北をツアーのエリアとしました。</p> <p><b>(アドベンチャートラベルとは)</b></p> <p>アドベンチャートラベルとは、自然、アクティビティ、文化体験の3つの要素のうち、2つ以上で構成される旅行を言います(Adventure Travel Trade Associationによる定義)。簡単に言えば、地域にあるありのままの自然や文化をアクティビティ等を通して、体感することのできる旅行形態です。この旅行では、今までにないユニークな体験などの5つの体験価値を手段として、旅行者の心を満たし、旅行後の日常生活の質の向上を図ることができます。このアドベンチャートラベル(以下ATとする)には、大きく2つのメリットがあります。</p> <p>1つ目は、日本への経済波及効果が高く、地方の活性化につながることです。ATを利用する顧客には、教育水準の高い富裕層の割合が高く、長期滞在傾向にあるため、滞在中に使う費用が高く、消費額の約65%を地域に残すことができます。また、地域が持つ食文化、歴史、人材、建物を活かすことができ、地域の自然・社会環境のサステナビリティ(持続可能性)、地域住民の雇用・所得向上に貢献することができます。ATがいわゆるエコツーリズムと異なる点は、アクティビティ等を通じ消費活動が大きい点にあります。これによって地域活性を促し、地域の人々がより地域を愛することにもつながります。ATは地域産業にとって「救世主」となりうる取り組みと言えると思います。</p> <p>2つ目は、自然環境保護にもつながることです。観光を通じた環境・社会文化・地域経済への貢献を重要なミッションとして掲げています。地域で生産された材料を使用した地産地消の食事を提供するなど様々な取り組みがなされています。またATの要素の1つであるアクティビティは、あくまでその地域の自然をありのまま感じるための“手段”であり、アクティビティのためにその地域の持つ自然を破壊するようなことは決してないです。このような観点から見てもATは自然環境保護につながると言えます。</p> <p>ATは地域にある資源を活用した観光を通じて、旅行者にとって忘れられない旅行を提供するとともに、地域の人々や環境・社会文化・地域経済にも貢献し、さらに地球レベルでの課題の解決を目指すツーリズムとして成長しています。</p> <p><b>(私たちがターゲットとするマーケットとツアーのポイント)</b></p> <p>私たちは、このツアーのターゲットをアメリカとフランスにしました。この2つの国は、添付資料の表1にあるように祭りや伝統文化</p>			

など日本の文化に興味があります。さらに表2から SUP の世界大会も多く開催されており、また、これらの国には世界的なミネラルウォーターのブランドもあるなど、水に親しみがある国であると言えます。さらに、表3より 2 つの国の平均滞在日数の多くを占める割合が、7~13 日であることや、AT が長期滞在型の旅行形態であることから、私たちはツアー日程を 7 泊 8 日と設定しました。このツアーで設定した代金も高額に見えますが、AT マーケットにおいては決して珍しい額ではありません。

ツアーでは、「温故知新」をテーマとし、北東北について学んだうえで、未来の北東北に思いを馳せることができる内容にしました。この 8 日間の滞在を通し、旅行者は北東北にある様々な水に関する資源に触れたり、水と共に生きるために様々な工夫をしている地域の人と交流したりすることができます。十和田湖や田沢湖を SUP で楽しみ、この時に湖に関わる伝説を聞き、その伝説に出て来るイワナ

や龍に似ている地形を宝探しのように探してもらうことで、北東北の水に関わる文化や自然を楽しみながら感じることができます。また三陸復興国立公園では、水が人々の生活を壊してしまう一面もあるという水の脅威を学びます。

このツアーを通して、旅行者は北東北の古代から現在に至るまでの水に関わる資源や歴史、文化を様々なアクティビティを通して感じることができます。このツアー内容であれば必ずターゲットの心を満たし、心身ともに健康にすることができると思います。

また、北東北の資源を保護しつつ、地域に経済効果をもたらすことができ、まさに旅行者と北東北にとって WIN-WIN な観光を実現させることができると考えます。

【安全確保のための配慮】	【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元を知り尽くしたスルーガイドの同行</li> <li>・ 安全指導のできるインストラクターの同行</li> <li>・ 参加者への注意事項の周知徹底</li> <li>・ SUP・ダイビングには保険が含まれます。</li> <li>・ 観光協会又は、地方自治体による旅行者が滞在中に利用できる相談窓口の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅行者が巡る日程をなるべく歴史を追っていけるような内容にし、ツアー名通り、太古から未来の北東北を感じることができます。</li> <li>・ 北東北が持つ自然や歴史、文化を五感を通して感じることができます。</li> <li>・ 旅行者の好みに合わせたアクティビティの難易度を選択することができます。</li> </ul>

【インバウンド対応のための工夫】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提供する料理には、伝統的な日本食だけでなく北東北の食材を使った洋食も提供する事で、抵抗なく地元の食材の良さをわかってもらう事ができ、北東北の食材の良さを自国の料理を通じて感じてもらうことができます。</li> <li>・ 多言語表記の観光マップ、ハザードマップの配布をし、多言語対応可能なツアーガイドを同行させます。</li> <li>・ ガイドから旅行者に注意事項の理解、安全確保、地域の文化理解を徹底し、地元住民とインバウンド客とのトラブル防止を図ります。</li> <li>・ AT はマスツーリズムではない為、他の AT のツアーを運営している団体と協力して HP を作り、リスティング広告などを用いて、このコースの利用者を集めます。</li> </ul>	

【特記事項】	<p>近年の新型コロナウイルスの影響で、今までのようなマスツーリズムを行うことが厳しくなると考えられます。そのため、少人数でも地域経済の発展が見込め、環境に負荷のかからないアドベンチャーツーリズムであれば、新たな旅行の形として将来性があると考え、このコースを企画しました。また AT であれば経済面だけでなく、このコースを通して、旅行者に北東北が持つ自然や文化を理解してもらうことができると考えました。</p>
--------	---

【催行実績】	無
--------	---

【 行 程 表 】

1 日目	<p>「太古の日本にタイムスリップ！」</p> <p>→太古から縄文時代の遺跡を巡り、当時の自然や文化を体感してもらう。</p> <p>花巻空港→ 三陸ジオパークダイビング（約 2 時間）三内丸山遺跡 （遺跡+ミュージアム 2 時間 美術館付き+1 時間）</p> <p>◎この日のポイント三陸ジオパークで地球規模の大地の成り立ち、変遷を知り、体感する。</p>
2 日目	<p>「三湖伝説～水の伝説・Episode 1～」</p> <p>→八郎太郎の伝説やねぶたなど東北に伝わる文化に触れ、SUP などのアクティビティを通して理解を深めてもらう。</p> <p>十和田湖 SUP（SUP ツアー6 時間）十和田湖で採れたイワナを食べる。</p> <p>ねぶた</p> <p>◎この日のポイント伝説に出てくる十和田湖の龍の痕跡を探し、イワナを食べる。</p>
3 日目	<p>「三湖伝説～水の伝説・Episode 2～」</p> <p>→十和田湖を追い出された八郎太郎と同じルートを巡り、アクティビティを通して伝説を体感してもらう。</p> <p>八郎瀧サイクリング（4 時間）なまはげグリーンティング</p> <p>◎この日のポイントサイクリングをしながら伝説を理解し、その土地に根付いた文化を体感し、地域の人と交流する。</p>
4 日目	<p>「三湖伝説～水の伝説・Episode 3～」</p> <p>→辰子姫と八郎太郎が結ばれる伝説をめぐるとともに田沢湖の水の透明さを体感してもらう。</p> <p>田沢湖 SUP（SUP ツアー6 時間）</p> <p>角館</p> <p>◎この日のポイント日本有数の透明度を持つ田沢湖で SUP を通して水の透明さに触れ、昔ながらの日本の文化や四季を感じる。</p>
5 日目	<p>「雅（MIYABI）～水と文化～」</p> <p>→平安時代の人々の文化と東北の栄華のルーツを辿る。</p> <p>砂金採掘（30 分）、平泉（中尊寺+毛越寺 3 時間）、神楽体験、平泉倶楽部～FARM&amp;RESORT～、餅文化</p> <p>◎この日のポイント砂金採掘で金を集める難しさを知り、そのあとに中尊寺金色堂を見学し、壮大さを感じる。</p>
6 日目	<p>「あの瞬間を、忘れない。～水の脅威・東日本大震災の記憶～」</p> <p>→水が残した恐怖の傷跡を間近で触れ、これまでとは一転して水の恐ろしさを学ぶ。</p> <p>三陸復興国立公園、震災メモリアルパーク、奇跡の一本松、北東北の食材を使った洋食</p> <p>◎この日のポイント震災で残った傷跡を見学し、水がもたらす災害の恐ろしさを学び今後活かす。</p>
7 日目	<p>「あの瞬間を、忘れない。～再び水と共に復興への道～」</p> <p>→震災を乗り越え、日常を取り戻すために尽力した地域の人々の努力の結晶を記憶の片隅に残してもらう。</p> <p>三陸復興国立公園（自転車、徒歩、セグウェイ in 潮風トレイル）</p> <p>◎この日のポイント復興への道、潮風トレイルを駆け抜ける。</p>
8 日目	<p>「本当の幸せを求めて…。」</p> <p>→これまでの旅の記憶を懐古しながら、水の里・東北に想いを馳せる。</p> <p>SL 銀河（約 4 時間）日本酒体験 in 花巻</p> <p>→花巻空港</p> <p>◎この日のポイント水の恵みである地元のお酒を飲みながら、SL 銀河の中で同じ参加者同士の交流を深め、旅を締めくくる。</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

三陸ジオパーク	三内丸山遺跡	三湖伝説
 <p>出典：田野畑村観光情報  <a href="https://www.vill.tanohata.iwate.jp/kankou/experience/diving.html">https://www.vill.tanohata.iwate.jp/kankou/experience/diving.html</a></p>	 <p>出典：青森県観光局 HP  <a href="https://www.apinet.jp/index.html">https://www.apinet.jp/index.html</a></p>	 <p>出典：秋田県観光振興課  <a href="https://www.akitafan.com/">https://www.akitafan.com/</a></p>
<p>このアクティビティは AT の三要素のうち自然・文化・アクティビティの全てが揃っています。自然として北東北の水が綺麗で透き通っている為、ダイビングをした際自然の豊かさを感じられます。文化として、ジオパークでは太古の地層が海に沈み、人間が生まれる前の歴史について感じる事ができます。アクティビティとして、ダイビングを通して、体を動かしながら楽しく北東北の良さを理解してもらえます。</p> 	<p>三内丸山遺跡は、国の特別史跡に登録されている日本最大の縄文集落です。旅行者はこの三内丸山遺跡を通して、縄文時代の暮らしや文化を体感してもらうことで、大昔の日本の歴史を理解してもらうことができます。ここでは実際の縄文時代の建物の中に入ったり、土偶やまが玉、縄文ポシェットを作ったり、火こし体験ができたりします。</p> 	<p>三湖伝説とは、北東北に古くから伝わる伝説です。これは十和田湖、八郎潟、田沢湖を舞台に、八郎太郎という人間が十和田湖の山奥に入ったところ、美味しそうなイワナを発見し、自分の分だけでなく仲間の分のイワナも食べてしまったところ、喉が渴いてしまい、湖の水を全て飲み干してしまいました。すると八郎太郎は龍に変身してしまうというものです。同じような伝説が八郎潟や田沢湖にも伝わっています。</p> <p>ツアーの中ではこの伝説について教えてもらったあと、実際に湖に出て、SUP をしながら伝説に出てきたイワナや、龍の形に似ている岩などを宝探しのように探してもらいます。そうすることで旅行者に楽しみながら湖に伝わる伝説や湖の魅力を知ってもらうことができます。</p> 
砂金採掘・平泉	神楽体験	平泉倶楽部・餅文化
 <p>出典：中尊寺所蔵  <a href="https://www.chusonji.or.jp/know/konjikido.html">https://www.chusonji.or.jp/know/konjikido.html</a>          (使用許可済)</p>	 <p>出典：岩手県観光ポータルサイト  <a href="https://iwatetabi.jp/index.php">https://iwatetabi.jp/index.php</a></p>	 <p>出典：平泉倶楽部 HP  <a href="https://hiraizumi-club.jp/facility/">https://hiraizumi-club.jp/facility/</a></p>  <p>出典：岩手県観光ポータルサイトいわての旅  <a href="https://iwatetabi.jp/index.php">https://iwatetabi.jp/index.php</a></p>
<p>中尊寺金色堂は極楽浄土を再現しようと金で作られている事で有名です。そこで同じ場所で行われる砂金採掘を体験してもらってから、黄金の寺金色堂を見学してもらう事で、当時の人たちが金色堂建立にどれだけの思いを持っていたのかを実感してもらう事を目的としています。小さな砂金を採るだけでも大変なのに、建物全体を金で埋め尽くすにはどれほどの労力が必要なのかをわかっただけでも、金色堂の価値をより深く理解してもらえたと考えました。</p> 	<p>北東北には、古くから伝わる様々な神楽などの伝統文化が多くあります。それらの起源は、豊作や五穀豊穡を祈ることにあり、水に関係しています。</p> <p>神楽を見るだけではなく実際に旅行者に神楽を体験してもらうことで、神楽などの伝統芸能への理解がより深まると考えました。</p> <p>具体的には舞具を作ったり、実際に神楽を舞ったりするアクティビティを考えました。</p> 	<p>この施設は築 150 年の古民家で平泉の風土を感じながら生活できる事が特徴です。南部鉄器などの伝統工芸品を実際に利用でき、神楽鑑賞もできる為、歴史を感じながら穏やかな滞在ができます。</p> <p>また、平泉近くの一関地域では江戸時代から続く餅食文化があります。この地域では約 300 種類の餅が食べられており、有名なひと口もち膳はお腹一杯になる前に 9 種類の伝統餅料理を楽しむ事ができます。</p> 

三陸復興国立公園



出典：  
岩手県宮古市 震災メモリアルパーク中の浜  
(city.miyako.iwate.jp)



出典：青森県観光局  
HP <https://www.aptnet.jp/index.html>

三陸復興国立公園は、東日本大震災によって被災した三陸地域の復興に貢献するために創設された前例のない国立公園です。国立公園として豊かな自然を持つだけでなく、震災メモリアルパークなど防災教育を行う場所としても利用されています。

ツアーの中でも防災を学ぶ場所として訪れ、ガイドとともに国立公園内を巡り、水は豊かな文化や自然を育むだけでなく一瞬で生活を奪ってしまう一面もあることを旅行者に理解してもらいます。この国立公園内は広いため、旅行者自身が自分の好みや運動能力に合わせて自転車、トレッキング、セグウェイの中から好きな物を選んでこの公園を楽しんでもらえるようにしました。



SL 銀河



出典：花巻市 HP  
<https://www.city.hanamaki.iwate.jp/bunkasports/bunka/sogobunkazai/1008065/1002071.html>



出典：JR 東日本 SL 銀河  
<https://www.jreast.co.jp/railway/joyful/galaxysl.html>

SL 銀河は釜石市から花巻市を約 4 時間で走る列車で花巻市出身の宮沢賢治の銀河鉄道の夜をモチーフに作られています。車内は宮沢賢治の生きた大正から昭和時代をイメージした照明やステンドグラスが使われているほか、各車両にプラネタリウムや宮沢賢治ギャラリーが設置されており、大正、昭和の雰囲気や宮沢賢治と東北のつながりについて学ぶことができる列車となっています。花巻駅では不定期ではありますが花巻の伝統舞踊である「鹿踊」という踊りでお見送りしてくれます。また、車窓からは岩手の風景も楽しむことができ自然も体感することができます。



日本酒体験



出典：秋田県観光振興課  
<https://www.akitafan.com/>

今回、私たちは酒蔵を見学してもらうだけでなく実際に蔵人さんの仕事を体験してもらい自分で作ったお酒を飲んで楽しめるアクティビティをしてみようと考えています。岩手県での先行事例を見つけることはできませんでしたが千葉県、埼玉県ではすでに行われており大人気の企画となっています。蒸しや製麴、粕はがしなど蔵人さんの実際の仕事を体験や、利き酒大会、日本酒講座など酒造見学だけでは味わえないより深い体験ができるようになっていきます。そして、自分が実際に携わってできたお酒は後日お客様のもとにお送りし旅行の思い出と共においしく味わってもらおうと考えています。



ブイヤベース



北東北の新鮮な魚介類を使用したブイヤベースやアクアパッツァなどの洋食を提供します。一週間滞在して毎日和食では外国人は飽きてしまうと思うので、6 日目に洋食を出すことで飽きさせない工夫をしました。また北東北の水の恵みである魚介類の食材の良さも親しみのある料理を通して理解してもらおうことができると考えました。